

科目名	作業療法特論			授業の種類	演習	講師名						
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年	前期
【授業の目的・ねらい】 臨床現場の実践を学ぶ												
【実務者経験】 作業療法士として公立社総病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘にて身体障害領域の急性期から回復期までのリハビリテーションの従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 各臨床現場の状況や作業療法士の実践について講義や演習を行う												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 幅広い作業療法士の実践現場を知り、臨床実習に役立たせることができる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	臨床現場でのCI療法の実践											
2	臨床現場でのCI療法の実践											
3	通所リハビリテーションの役割											
4	通所リハビリテーションの役割											
5	「その人らしさ」を支援する作業療法実践											
6	「その人らしさ」を支援する作業療法実践											
7	認知症の方への作業療法士の実践											
8	認知症の方への作業療法士の実践											
9	地域リハビリテーションにおける作業療法士の実践											
10	地域リハビリテーションにおける作業療法士の実践											
11	精神科における作業療法士の実践											
12	精神科における作業療法士の実践											
13	老年期障害へのアプローチ											
14	老年期障害へのアプローチ											
15	地域における就労継続施設等の役割											
定期筆記試験												
【使用教科書・教材・参考書】												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみを実施して、 60点以上の場合に科目を認定する。												